

# 平成 29 年度 南相馬市一般会計当初予算の概要

## 方針

- 最重点方針 1 「復興事業の優先的実施」
- 最重点方針 2 「旧避難指示区域の再生」
- 重点方針 1 「地域の絆づくりと安心生活の再生」
- 重点方針 2 「未来を担う人を育む環境の充実」
- 重点方針 3 「若い世代の定住の促進」

## 一般会計予算規模

平成 29 年度

# 589 億円

前年度比 ▲ 434 億円 (▲ 42.4%)

一般会計の予算規模は、589 億 4,385 万 3 千円となった。

対前年度当初比 433 億 7,213 万 2 千円減。

震災関連事業	通常事業
<b>317 億円</b>	<b>272 億円</b>
前年度比 ▲437 億円 ▲58.0%減	前年度比 3 億円 1.1%増

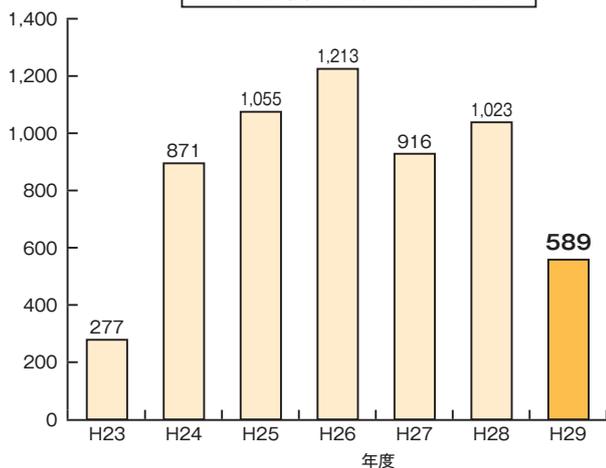
### 【予算減少の主な要因】

復旧・復興事業の伸展に伴うもの。

- ①一通りの除染が完了したことにより、除染関連事業が大幅に減少
  - ・生活圏除染事業 231 億円 → 0 円
  - ・除去土壌等仮置場設置管理事業 207 億円 → 21 億円
  - ・農地除染関連事業 28 億円 → 0 円
  - ・農地除染事業 11 億円 → 0 円
- ②その他事業の進展によるもの
  - ・災害廃棄物処理対策事業
  - ・災害廃棄物処理代行業負担金
  - ・防災集団移転促進事業
  - ・植物工場整備事業 など

予算規模：億円

一般会計予算規模の推移



## 主な事業

Ⓝは新規事業 Ⓞは拡充事業

### ロボット実証実験支援事業助成金

南相馬市内におけるロボット実証実験の実施を促進し、ロボット施策を推進するため、ロボット実証実験を行う事業者に対し、助成金を交付します。

Ⓝ

# 240 万円

### お試し住宅整備事業

本市への移住を希望している者に対し、小高区などでの生活を体験できる機会を提供するため、小高病院の職員公舎をお試し住宅として整備します。

Ⓝ

# 492 万円

### 老人福祉センター建設事業 (原町区)

原町区における高齢者の憩いの場である原町老人福祉センターの新設に向けた業務委託等を行います。

Ⓝ

# 2,272 万円

### 利用者支援事業 (母子保健型)

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行うため、「子育て世代包括支援センター」を設置し、母子保健や育児に関する相談支援事業等を実施します。

Ⓝ

# 1,178 万円

### 公衆無線 LAN 環境構築事業

観光客の利便性の向上及び災害時における情報発信と情報収集の迅速化を図るため、市内の拠点施設に公衆無線 LAN 環境を構築します。

Ⓞ

# 7,634 万円

### 全国植樹祭開催推進事業

原町区雫地区の海岸防災林が式典会場となる平成 30 年春の第 69 回全国植樹祭の開催に向け、植樹祭開催の気運を高めるため、市主催イベント時に PR 活動等を行います。

# 1,202 万円

# 3月議会

3月議会は3月3日から24日までの22日間行われ、議案58件（条例関係15件、人事関係1件、予算関係32件、その他10件）報告1件を審議し、原案通り可決しました。

## 【目次】

3月定例会議案とその結果	2～5頁
委員会提出意見書、請願・陳情の結果	5頁
常任委員会審査報告	6～8頁
一般質問	9～15頁
傍聴記、編集後記、次回定例会の日程	16頁

## 平成29年度 南相馬市一般会計予算について

**質 疑** 運転免許証返納者へタクシー券を配付することだが、その内容は。また、地域交通を確保することは従前からの大きな課題であり、全庁的な取り組みで市民の移動手段を確保すべきではないか。

**答 弁** 自主返納された方に対し500円綴りのタクシー券20枚、合計1万円分を配付する考えである。

また、平成29年度に公共交通再編に係る実施計画を策定し、その中で郊外型市街地の中心型といった形で公共交通の再編を進め、早ければ平成29年度半ばには実施に移していく。

**質 疑** 平成24年に着手以来、これまで整備費と運営費で10億円近いお金が投じられている。テレビというメディア本来の特性である速報性・即時性・同報性がほとんど生かされず、視聴者である市民が十分な満足を得られているとはいえない。整理が必要な時期に差し加かっているのではないか。

**答 弁** 整備費も含めてほぼ全額国庫補助で運営されており、10年間は継続する考えだが、放送の効果等を検証しながら委託業者とも相談し、よりよい放送を目指していく。

**質 疑** 対象地域は井田川地区だが、防災集団移転元地を含む地域の土地活用をどのように図っていくのか。

**答 弁** 住民帰還が進まず、営農再開のハードルは高い。複数の行政区にまたがる土地の再生について、庁内でプロジェクトチームを編成し、地域住民の意見を慎重に進めていく。

**質 疑** 業務委託を継続する内容だが、本市の主体性・主導性は担保されているといえるのか。

**答 弁** 事業の趣旨・目的である地域コミュニティの再生と協働の仕組みづくりについては、あくまで小高区役所の責務として取り組んでいく。

○交通対策一般経費  
1千125万5千円

**【主な内容】**  
交通事故を防止し安全かつ円滑・快適な地域交通を確保する。  
・事業内容  
①地域安全パトロールの実施  
対象地区…市内全域  
実施体制…5人体制  
②運転免許証返納者へのタクシー券の配付

○南相馬チャンネル管理運営事業  
6千254万9千円

**【主な内容】**  
地上一般放送（エリア放送）とインターネットを利用した南相馬チャンネルにより、市民に対し、復興情報や防犯情報等の情報提供を行う。  
・事業内容  
①南相馬チャンネル管理業務委託等  
②放送施設（市内34か所の送信所）設備、機器等の修繕

○防災集団移転元地等活用ビジョン策定事業  
3千88万8千円

**【主な内容】**  
旧避難指示区域再生のため、防災集団移転元地等を含む地域の土地活用ビジョンを策定する。  
・事業内容  
策定年度…平成29年度  
策定地域…井田川地区（井田川行政区、浦尻行政区、下蛸沢行政区）  
防災集団移転元地等活用ビジョン策定支援業務委託

○小高区復興デザイン協働創生事業  
1千96万2千円

**【主な内容】**  
小高区の復興に必要な不可欠な地域コミュニティの再生と協働の仕組みを再構築する。  
・事業内容  
①復興支援員（臨時職員 賃金） 1人  
②小高復興デザインセンター運営委託  
委託先…東京大学